

2014年度 事業報告書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド

1 事業実施の方針

被災地や紛争地及び開発途上国の子ども達、障がい者、貧困層の人々に対して、スポーツや教育、その他の活動を通じて自立につながる事業を行い、苦境に立ち向かう人々や子ども達が人生にチャレンジするための「希望と勇気」を持つことが出来る機会創造に寄与することを目的とする。特に、途上国の人々が自分達のかかえる問題を自らの力で解決していけることを目指し、彼らの視点に立って、彼らと共に人材育成に力を注いでいく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業概要	事業内容	実施日	実施場所
国内外におけるスポーツ大会、イベントの運営協力事業	・アンコールワット国際ハーフマラソン後援 ・アンコールウォーキング大会	・第19回を迎えた今大会は、79の国と地域から、8271人が参加。 ・遺跡内で現地の子も達とウォーキング大会を開催。(NCCCの子も達のデザインのTシャツを着て、エイズ予防の広報活動を実施)	12/5～12/7(12/9)	カンボジア(シムリアップ)
	・スポーツイベント ・チャリティーイベント	・国内のチャリティーマラソン・スポーツイベントなど実施・協力 ・チャリティーイベントの主催・後援・協力など開催協力	4月～3月	日本(全国)
スポーツを通じた開発支援事業	・小学校体育科教育振興 ・招へい(日本での短期研修)(JICA草の根技術協力事業) ・運動会実施の指導 ・カンボジア小学校サッカー大会 ・スポーツ施設設置・建築 ・中学校体育科教育支援	・カンボジア小学校体育科教育普及第3フェーズを実施。MoEYS担当官12名の増員・育成。8州でワークショップ・モニタリングを実施。MoEYS担当官12名の日本での研修を実施。JICA地球ひろばで報告会開催。 ・カンボジア教育省主導の運動会の実施及び指導技術の確立 ・第3回HG杯ジュニアサッカー大会を開催(16州から221人が参加) ・体育教育実施の学校に必要なスポーツ施設や用具を支援 ・小・中の一貫した体育科教育の確立のため1～3月に活動 ① 態調査 ②本邦研修 ③日本の専門家によるワークショップ開催	4月～3月	カンボジア8州(ワークシヨプとモニタリング)
			1月～3月	日本
障がい者支援事業	・障がい者スポーツの振興 ・日本の大会へ招へい	・障がい者スポーツ振興支援(CDAFトレーニング支援) ・障がい者ランナーの日本のマラソン大会への招へい	4月～3月	カンボジア 日本
被災地、紛争地における自立・復興支援事業	・日本語教育 ・留学	・「ハート・オブ・ゴールドむつみ日本語教室」での日本語教育(3クラス、64名) ・現地ステイター訪問者の受入れと交流 ・日本語教室の生徒を岡山学芸館高校へ留学(4月～3月)	4月～3月	カンボジア(シムリアップ) (スバイリエン)
	・養護施設(NCCC)運営(日本国際協力財団支援事業)(岡山県 LtoL 技術移転事業)	・ハート・ヘアレント(里親制度)で孤児や貧困児童を受入れ養育する。 ・地域住民(お母さん)への保健・栄養・料理教室開催 ・ローカスツアの研修(日本での短期留学を含む)の実施 ・日本からの歯科医による虫歯の治療・予防教育の実施		
	・子どもの健康増進・疾病予防	・3ヶ所に浄水器を設置(ピトゥス小学校、NCCC子ども達にきれいな水を提供できるようになり、疾病予防、健康増進に寄与できる。		
	・自立のための職業訓練&ソーシャルビジネス準備(美容ワークショップの開催)	・日本人美容師による美容技術向上のためのワークショップを8回実施。延べ人数61名が参加。日本の美容学校では当然教えている事も、カンボジアでは教えていないことが多く、日本の美容技術を教えられる学校のニーズは大いにあると思われた。		
・3.11子どもanimoプロジェクト	・野蒜小学校では、学校から要請された支援を継続実施。福島市の3つの小学校(蓬萊・佐倉、余目小学校)には、3基ずつ「太陽光街路灯」を設置。地域住民の方々にも夜間開放しているため有効。	宮城県 福島県		
国際理解・交流事業	・ステイター協力 ・青少年交流 国際協力の現場視察とボランティア体験を通じた国際理解	・実際に現地を見学し、交流、活動することにより貧困・環境・平和・開発などの問題について理解を深める。 ・企画ツアーを実施(ウォーキング大会や活動現場訪問/12月実施) ・学生や団体のステイターを受入れ活動に協力。(中学・高校・大学・団体など29回受入)	4月～3月	カンボジア
	・サービスマーケティング(学校教育支援)(持続可能な開発のための教育/岡山ESD推進協議会支援) ・研修・啓発・講演会 ・インターン受入(国内外)	・要請に応じて学校や団体に講師を派遣(18回) ・インターネットライブや文通、メールによる現場との交流・情報提供。国際協力・交流などの実践的学習活動の場を学校に提供。 ・10月、11月に岡山市で開催されたユネスコESD世界会議に協力。 ・国際協力のシンポジウムパネル展講演会などを開催、講師派遣(20回) ・個人インターンの受け入れ(3人)	4月～3月	日本 カンボジア
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	・出版/調査/研究など ・通信・ネット等での啓発活動	・AWHMの18年の記録DVD作成 ・学会発表、調査研究、シンポジウム、世界会議などへの参加 ・スポーツを通じた協力や持続可能な開発について啓発活動を実施	4月～3月	日本 カンボジア

(2) その他の事業

定款の事業名	概要	事業内容	実施日	実施場所
バザーその他物品販売事業	チャリティーバザーの実施やグッズ販売・パネ展示	Tシャツ、キャップ、本などの販売やパネ展示を通して活動支援金を広く集める。これに並行して、活動内容の広報を行うとともに、国内での活動支援者層の拡大を図る。各地区で開催されるイベントにも参加。	随時	日本